顧客満足の向上と製品の品質・安全

製品・サービスの品質保証

品質方針

当社は、お客さまが品質保証活動で使用される環境 試験器を提供しており、エスペック製品のクオリティが そのままお客さまの製品のクオリティに直結している こと、また、その重責を担っていることに、私たちの存 在意義があると考えています。私たちは「お客さまへ 安全、快適、確実に使命を果たす、より確かな製品と サービスの提供を行う」を基本理念として掲げ、グロー バルカスタマーの期待に応える高品質製品の実現に 向けて取り組んでいます。

品質保証体制

国内外においてEQA (ESPEC Quality Assurance) と呼ばれる独自の品質保証体制を確立し、活動を行っています。また、1993年に国内他社に先駆けて品質マネジメントの国際規格「ISO9001」の審査・登録を行いました。その後2015年のISO改正についても移行を完了して認証継続するとともに、品質保証体制の継続的改善を実施しています。2019年度は「『QMSの着実な遂行』と『品質第一主義』によって、各成長戦略を下支える『エスペック品質』を維持向上させる」を基本方針に掲げ、各部門の連携を密にした品質保証活動により、製品とサービスの品質向上に取り組みました。

QMC活動

当社では、生産現場を中心としたQC活動を、日常業務の中から顧客満足の向上と付加価値創造の実現を目指す全社員参加型の「小集団活動」へと転換し、QMC(Quality Management Circle)活動として実施しています。2019年度は、73サークルがさまざまなテーマで改善活動に取り組み、品質改善やコスト削減、業務効率の向上など大変高い成果をあげました。

お客さま満足の向上に向けて

安心・安全につながる

アフターサービス体制「4つの約束」

お客さまに安心して製品をご使用いただくため、アフターサービスでは下記の[4つの約束]を掲げて取り 組んでいます。

1. 讯速な対応

国内15のサービス拠点と国内外の代理店による充実したサービスネットワークで製品の技術サポートを実施。国内では、24時間365日受付のフルタイム技術サポートで、万一の緊急事態にも迅速に対応します。

2. 予防保全メニュー

製品を長く安心してお使いいただくために、豊富な予防保全メニューをご用意しています。

3. 長期のメンテナンス体制

最長15年間メンテナンス部品を供給できる体制に取り組み、 お客さまの環境試験器を長期間サポートします。

4. 安全体制のご提案

地震等発生時の被害を最小限にする周辺機器を提供しています。

お客さまの「面倒くさい」を解消する装置管理サポート

2019年8月、お客さま先の作業内容を管理する新たなサポートシステムを開始しました。これにより、お客さまは当社に問い合わせることなく、いつでもスマートフォンなどから装置のメンテナンス履歴を確認できます。 今後もお客さまの面倒事を解消し、お役立ていただける先進的なサービスの開発に取り組んでまいります。

新たなアフターサービス認定制度を開始

高度な専門技術力を持つサービスエンジニアの育成に向け、エスペックグループと国内外の代理店のサービスエンジニアを対象としたアフターサービス認定制度を新たに導入しました。技能力・技術力・公的資格の修得度に応じた3段階のランクで認定を行います。

カスタマーサポートデスク

カスタマーサポートデスクでは、製品購入前から廃棄に至る全てのシーンにおいて、ワンストップで問題を解決できる体制を整え、お客さまのさまざまなお問い合わせにダイレクトにお応えしています。2019年度は約10,000件のお問い合わせに対応しました。また、お客さまが必要な情報をスムーズに見つけられるよう、ホームページのお問い合わせページをリニューアルしました。

お客さまのテレワークを支援する 「在宅オンラインサービス」を開始

2020年5月、お客さまが自宅に居ながら環境試験を行うことができる「在宅オンラインサービス」を開始しました。新型コロナウイルス感染症の拡大を背景にテレワークが増加するなか、テレワークでも出勤時と同様の試験品質でお客さまの開発業務を支援します。 ** P.14のESPEC NEWSもご覧ください。

業界初 製品の[5年保証]の実施

主要5製品を対象に製品の「5年保証」を実施しています。製品を設置してから5年間、無償で修理対応を行います。高品質な製品と万全のサービス網を持つエスペックならではのサービスです。

豊田試験所をリニューアル

2019年9月、受託試験サービスを提供する豊田試験所をリニューアルしました。車載機器に関する国際規格や業界規格、メーカー各社の独自規格などに対応し、お客さまの多岐にわたる試験を幅広くサポートします。



豊田試験所(愛知県豊田市)

エスペック信頼性セミナー2019の開催

信頼性試験における有益な情報をお客さまに提供 する活動として、信頼性セミナーを開催しています。

2019年度は東京、名古屋、大阪の3会場で開催し、計196名のお客さまに参加いただきました。

基調講演では、当社の上席顧問で名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授である佐藤登より「日韓中電池業界の激突と次世代電池開発の展望」と題して講義を行いました。また、EV用二次電池の評価動向や装置機能、各種自動車関連規格に対応した受託試験サービスなどについても紹介し、ご好評をいただきました。

技術者向け情報サイト「Test Navi」

技術者のための信頼性技術の専門情報サイト 「Test Navi」を開設しています。環境試験のノウハウ や信頼性試験の基礎から最新の試験動向まで、お客さ まに役立つ情報をタイムリーにお届けしています。

2020年3月末現在における会員登録者数は 19,570名となりました。

第12回国際カーエレクトロニクス技術展に出展 (東京ビッグサイト)

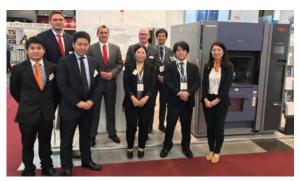
2020年1月、カーエレクトロニクス分野における世界 最大の専門展「第12回国際カーエレクトロニクス技術 展」に出展し、多くのお客さまにご来場いただきました。

本展示会では、クルマの品質を下支えする当社の総合力を「CASE*」をキーワードにご紹介しました。自動車分野向けの試験装置をはじめ、2019年にリニューアルオープンした豊田試験所や、IoTを活用した試験の遠隔管理サービスなどについてご説明しました。

※ 自動車の次世代技術・サービスの新たな潮流を表すConnected(接続性)、 Autonomous (自動化)、Shared (共有)、Electric (電動化)の頭文字4つ をつなげた造語。

Automotive Testing Expo. Europe 2019に出展 (ドイツ・シュトゥットガルト)

2019年5月、自動車関連試験の世界最大規模の展示会「Automotive Testing Expo. Europe 2019」にドイツの代理店と共同出展しました。クルマの電動化に向けた試験ニーズに対応し、安全機能を高めた恒温恒湿器や、試料への配線がしやすい冷熱衝撃装置を展示しました。この「Automotive Testing Expo 2019」には、ドイツのほか米国、中国、韓国、インドでも出展し、海外グループ会社と連携してグローバルなプロモーション活動を展開しました。



Automotive Testing Expo. Europe 2019 (ドイツ・シュトゥットガルト)

多様な人材の活躍推進

ダイバーシティの推進

女性の活躍推進

●女性社員の育成

意欲や能力のある女性が働きやすく活躍できる組織づくりに力を入れています。2013年度より女性リーダー育成研修を実施し、これまでに30名が受講しています。2019年度は、女性社員の職域拡大に向けた取り組みとして、営業職・技術職・技能職の女性社員を対象とした個別ヒアリングや交流会などを行いました。また、女性営業職を対象としたフォローミーティングでは「女性営業職のあるべき姿」をテーマに発表を行いました。





女性技能職交流会

女性営業職フォローミーティング

■女性役員数/女性管理職比率(単体)

(年度)	2018	2019	2020	
女性役員数	1名	1名	1名	
女性管理職比率	4.7%	4.5%	4.7%	

※ 2020年4月1日現在※ 女性役員数は執行役員を含む

●出産後も働きやすい職場環境づくり

正社員だけでなく契約社員やパートタイマーにも育児休業や短時間勤務制度の活用を推進しており、短時間勤務は子どもが小学3年生を修了するまで利用可能です。2019年度には在宅勤務制度を導入するなど、出産後も働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

■育児休業・短時間勤務制度の利用状況(単体)

(年度)		2017	2018	2019
育児休業利用開始者数		6名	6名	1名
育児休業取得率	女性	100%	100%	対象者なし
	男性	3%	6%	7%
短時間勤務利用開始者数		6名	7名	8名

●社外からの評価

2019年9月、大阪府男女いきいき事業者表彰において「男女いきいき優秀賞」を受賞しました。また、2019年12月には当社執行役員の西谷淳子が大阪商工会議所の第4回大阪サクヤヒメ表彰「活躍賞」を受賞しました。2016年度の第1回「活躍賞」に続き、2回目の受賞となります。

■認証·受賞等

(年度)	内 容
2019	・大阪府男女いきいき事業者表彰「男女いきいき優秀賞」を受賞 ・第4回大阪サクヤヒメ表彰「活躍賞」を受賞(西谷淳子)
2018	・大阪府男女いきいきプラス認証を取得 ・内閣府「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」 行動宣言に賛同(代表取締役社長 石田雅昭)
2016	・女性活躍推進企業「えるぼし」最高位 (3段階目) 認定 ・第1回大阪サクヤヒメ表彰 [活躍賞] を受賞(西谷淳子)
2015	・子育てサポート企業として「くるみん」認定 ・大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証を取得









子育てサポート 企業「くるみん」

女性活躍推進 企業「えるぼし」 (3段階目)

大阪府 男女 いきいきプラス 認証

大阪市女性活躍 リーディング カンパニー認証

定年退職者の再雇用

定年退職者の再雇用制度を導入しています。希望者 全員を65歳まで雇用するようにしており、2019年度は 定年退職者22名全員が再雇用となりました。また、55 歳を迎える社員を対象に、再雇用を見据えた今後の キャリアについて考える機会として、キャリアプラン研 修を実施しています。

障がい者の雇用

障がいのある方が15名勤務しています(2020年3月末現在)。障がいのある方を、その能力や適性に応じてできるだけ多く雇用できるように、今後も継続して職場環境の改善や職務の見直しなどに取り組みます。











快適な職場環境づくり

社員の安全の確保

●新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み 社員の安全の確保と事業継続に向けて、新型コロナ ウイルスの感染防止策を以下のとおり定め、取り組ん でいます。(2020年9月1日現在)

なお、新型コロナウイルス感染拡大への対応および 状況についての最新情報は、随時当社ホームページで お知らせしています。

- 1. 飛沫感染の防止に向けて、3つの密を回避する (換気の励行、ソーシャルディスタンスの確保など)
- 2. 接触感染防止に向けて、事業所内をクリーンな環境に保つ (執務エリアの消毒、入館時の消毒液による手洗い、マスク着用など)
- 3. 働き方の変容に向けて、在宅勤務・時差出勤を推奨する

●安全衛生活動

安全衛生委員会を設置し、委員による事業所内の安 全パトロールを行うなど、労働災害の撲滅、労働環境の 改善に努めています。また、交通事故防止の対策とし て、安全運転適性検査の実施や安全運転講習会による 啓発活動に取り組んでいます。2020年度からは国内 の全事業所において、屋内での喫煙を禁止しました。

■安全衛生活動の実績(単体)

(年度)	2017	2018	2019
労働災害(不休災害を除く)	2件	0件	1件
健康診断受診率	100%	100%	100%
車、バイク、自転車による人身事故	3件	3件	3件
車、バイクによる自責事故	21件	23件	12件

柔軟な働き方に向けて

単月の時間外労働時間が80時間を超える社員に対 して医師による面接指導を義務付けています。また、家 庭と仕事のバランスを考慮し、有給休暇計画取得制度 やフレックスタイム制度を導入しているほか、一斉退社 日(ノー残業デー)の設定、事業所の一斉消灯を実施し ています。2019年度には、コアタイムのないスーパー フレックスタイム制度や在宅勤務制度を導入しました。

ハラスメントの防止

セクハラやその他の差別待遇、いやがらせ行為など に関する連絡・相談窓口を設置しています。2019年度 は職場の管理者であるリーダー職以上を対象に、ハラ スメント防止研修を実施しました。また、2020年6月に は新たに「ハラスメント防止規定」を制定しました。

福利厚生の充実

社員が自分に必要なサービスを選択する選択型福 利厚生制度[カフェテリアプラン]を導入しています。 育児や介護、旅行など多様なメニューから割引サービ スなどを受けることができます。また、財産形成貯蓄制 度では社員の積立額に対して、従業員持株会では会員 の拠出金に対して、定率の奨励金を会社より支給して います。さらに、社員が病気やケガで長期間働くことが できなくなった場合に一定の収入を補償するGLTD (団体長期障害所得補償保険)制度を導入しています。

人事制度·教育

人事方針

会社の盛衰は「人」で決まります。会社にとって「人」 が中心であり[人]重視の経営こそが会社発展の原動 力です。「社員が主役の会社でありたい」というのが基 本的な考え方です。また、高いモチベーションと品格を 兼ね備え、チャレンジ精神に富む良質な人材の開発・ 育成に取り組むことで「社員能力・活力の最大化」を目 指していきます。

コミットメントセッション(目標管理面談)の実施

全社員を対象とした目標管理面談「コミットメント セッション を定期的に実施しています。社員一人ひと りの目標設定や業務上の課題、今後のキャリアビジョ ンなどについて、本人と上司が話し合うことで、部門に おけるベクトル合わせとコミュニケーションの円滑化 を目指しています。

コース選択制度(勤務地限定選択制度)

家庭の事情や価値観・労働観により異動を限定的にすることを望む社員に対し、勤務地限定の選択肢を付与する制度です。2020年3月末現在におけるコース選択状況は「転勤あり(海外含む)」が84%、「勤務地域限定」が16%となりました。

社内公募制度

特定の事業やプロジェクトなどの要員を社内で募り、社員が自由に応募できる制度です。社員のチャレンジ精神を育成・尊重するとともに、人材の発掘・流動化による組織全体の活性化を目的としています。社員は事務局である人事部門に直接応募し、応募情報は秘匿されます。

グローバル・トレーニー・プログラム(海外研修制度)

国際的に活躍できる中核的人材を育成するため、「グローバル・トレーニー・プログラム」を設けています。この制度は、社員を海外グループ会社に一定期間派遣し、現地での実務体験を通してグローバルな考え方や幅広い見識を身に付けるものです。2019年度はタイ2名、中国1名、ドイツ1名、アメリカ1名を派遣しました。

自己啓発教育支援

自己啓発教育講座、援助金支給制度(外国語学習支援、通信教育、推奨資格)など、社員の「伸ばしたい能力」に合わせた教育支援を行っています。

2019年度は、自己啓発教育講座を289名が受講したほか、通信教育170名・推奨資格109名・外国語学習36名がそれぞれ援助金支給制度を利用しました。また、グローバルに活躍する経営幹部の育成を目的とした「エグゼクティブ育成制度」では、MBA(経営学修士)の取得など、経営幹部として求められる能力や見識を備えるための支援を行っています。2019年度は、MBA取得コース1名、大学等卒業資格取得コース5名、外国語学習コース1名が受講しました。

社員表彰の実施

1991年より毎年、特許・実用新案の取得や行政・加入団体からの表彰など、精励・功労の著しい社員を他の社員の模範としてたたえる社員表彰を行っています。

従業員とのコミュニケーション

ラウンドアップ研修会の実施

全社員を対象にラウンドアップ研修会を実施しています。ラウンドアップ研修会は、社員一人ひとりが企業理念の理解を深め、より良い企業文化を形成するために毎年実施しています。2019年度は、管理職や一般社員、新入社員といった各層のプログラムに加え、世代を超えた人材を集めたプログラムなど計14回開催し、317名が参加しました。



ラウンドアップ研修会

社長メッセージ

社内ホームページに、社長メッセージを定期掲載しています。社長の考えや経営戦略の進捗などを全社員にタイムリーかつダイレクトに伝えています。また、社員が仕事上の悩みや課題を直接社長に相談できる「明るい仕事相談室」を設置するなど、社長と社員の双方向のコミュニケーションを推進するとともに、価値観の共有を図っています。

社内報「プログレッシブ」の発行

全社員への企業理念THE ESPEC MINDの理解深耕や共有、事業活動などの情報共有を目的とした社内報「プログレッシブ」を定期的に発行しています。



サプライチェーン マネジメント



取引先さまとのより良い関係を目指して

基本方針

当社は取引先さまと良好なパートナーシップを構築し、相互発展できる関係づくりを重視しています。取引においては、関係法令・法規を遵守し、公正・公平な取引関係のもと、グローバルな観点で国内外から必要な資材・サービスなどを適切な品質・価格・納期・環境への配慮などを総合的に判断し調達していきます。

法令の理解・遵守のために

資材調達においては「下請代金支払遅延等防止法 (下請代金法)」遵守の徹底を目的として、社内教育を はじめ、さまざまな取り組みを行っています。

2019年度は、監査対象部門への定期的な自主監査を継続して実施し、懸案事項への必要な措置を講じることで、違反行為を未然に防ぐ活動に取り組みました。また、購買担当者や取引先さまと関係のある部門責任者、営業責任者を対象とした下請代金法の研修会を2回開催しました。国内関係会社にも外部講習会の受講要請を行うなど、エスペックグループ全体での下請法遵守体制の強化に取り組みました。

事業継続マネジメントの取り組み

自然災害や取引先さまの倒産など不測の事態が生じた場合、お客さまへの影響を最小限に抑えるため、 資産である金型の現物確認や、取引先さまの経営状況 などの確認を定期的に実施しています。

2019年度は、サプライヤ評価において、QCDESM (Q:品質、C:コスト、D:納期、E:環境、S:サービス、M:経営)だけでなく、コンプライアンスやBCP(事業継続計画)の取り組みについても評価を行いました。主要取引先さま158社に対して評価を実施し、必要に応じて現場訪問を行うことでリスク低減に努めました。また、当社が策定した「災害確認基準」と「初期対応方法」に基づく実践活動を継続して行いました。取引先さまの被災状況や重要部品の状況確認を迅速に実施することで生産現場への影響を最小限に抑えることができました。

「エスペック共栄会」の運営

1981年より取引先さまとの相互信頼の構築、および共存共栄を目的とした「エスペック共栄会」を組織しており、35社の取引先さまに参画いただいています。(2020年3月末現在)

2019年度は、品質向上を目的としたQCサークル活動の活性化に継続して取り組むとともに、会員企業の経営者の方を対象に、働き方改革に関するセミナーを実施し、ワークライフバランスの向上によるより良い職場環境の構築に向けた取り組みを行いました。また、多大なご協力をいただいた取引先さまに対して、感謝の意を表する「エスペック優秀取引先表彰制度」を導入しています。2019年度は、社長賞1社・優秀賞3社・特別賞3社の取引先さまを表彰しました。



働き方改革セミナー

グリーン調達の実施

資材調達先に対するグリーン調達においては、ISO14001認証取得をはじめとした環境マネジメントシステムの構築を条件に、環境負荷低減や環境関連法の遵守など環境管理活動を評価する指針として「エスペックグリーン調達基準書」を制定しています。2019年度は、グリーン調達認定取引先の拡大を目的に、取引先さまへの現場指導に継続して取り組みました。その結果、登録部品点数の95%を占める計123社の取引先さまが認定基準を満たすことができました。

「市況説明会」の開催

2019年6月に主要取引先さま68社をお招きし「市 況説明会」を開催しました。経済動向や受注状況など、 取引先さまの生産活動に必要な情報を事前に提供し て共有することで、安定調達の実施に取り組みました。

適切な情報開示 コミュニケーション

株主・投資家さまとの コミュニケーション

情報開示の方針・体制

会社法、金融商品取引法等関係法令、証券取引所の 定める適時開示規則などに従い、情報開示を行ってい ます。また、同規則に該当しない情報についても、私た ちを理解していただくうえで役立つ情報は、積極的か つ公平に開示していきます。社内体制としては、開示情 報を審議する機関として、情報開示委員会を設置して います。

開かれた株主総会に向けて

株主総会を株主さまと直接対話のできる貴重な機会であると考え、より多くの株主さまにご参加いただけるよう、集中日を避けて開催しています。

招集通知については早期発送に努めており、法定期日の1週間前に送付しています。また、法定期日の2週間前には東京証券取引所および当社ホームページに掲載し、株主総会情報の早期提供を図っています。議決権行使においては、郵送やインターネットでの行使も可能にしており、スマートフォンでQRコードを読み取ることで容易に行使できるスマート行使も導入しました。

第67回定時株主総会においては、新型コロナウイルス感染予防のため議決権の事前行使を呼びかけるとともに、開催時間の短縮や座席間隔の確保などの対策を講じ、48名の株主さまにご出席いただきました。



第67回定時株主総会

機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

機関投資家・証券アナリストの方を対象とした決算 説明会を実施しています。説明会には社長と役員が出 席し、業績や戦略などについて説明しています。

また、個別ミーティングについても東京・大阪を中心に随時行っており、2019年度は約120回実施しました。2020年5月の決算説明会については、新型コロナウイルス感染予防のため会場での開催は中止し、社長

ウイルス感染予防のため会場での開催は中止し、社長による説明音声・資料をホームページに掲載しました。 また、ウェブ会議または電話による個別ミーティングを 実施しました。



決算説明会

ラジオNIKKEI「アサザイ」に出演

2020年2月、ラジオNIKKEI の投資家向け番組「朝イチマーケットスクエア"アサザイ今日の1社"」に出演し、社長より当社の事業や強みを紹介しました。



井上パーソナリティ(前列左) と石田社長

環境省「環境情報開示基盤整備事業」へ参加

企業と投資家などが環境情報を中心とした実質的な対話を行う環境省の「環境情報開示基盤整備事業~ESG対話プラットフォーム~」に参加しています。コーポレートガバナンス報告書やサステナビリティレポートなど、投資家さまへのESG情報の開示を行っています。

IRツールの充実

●株主诵信

年2回発行している株主通信では、株主さまにエスペックについてよりご理解を深めていただくため、当社のさまざまな取り組みを紹介しています。2019年度は特集記事として当社の低酸素トレーニング室を取りあげ、スポーツ科学の分野でも貢献する当社の技術や、製品の納入事例を紹介しました。

●ホームページ(IRサイト)

IRサイトでは、経営方針、財務・業績データ、決算説明会などの各種IRイベント資料を掲載するなど投資家のみなさまに有用な情報の発信に努めています。2018年度にはスマートフォン対応を行い、さらに使いやすくなりました。また、IRサイトの更新情報を株主・投資家さまにお知らせするメール配信サービスも行っています。





IRサイト(左:PC版 右:スマホ版)

IRサイトに対する社外評価

当社のIRサイトは、日興アイ・アール社主催の「2019年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」において、最優秀サイト(総合表彰)に認定されました。また、モーニングスター社主催の「Gomez IRサイトランキング2019」において銅賞を受賞しました。







経営へのフィードバック

株主・投資家さまアンケート

会社説明会などにおいて投資家さまからご意見をいただいています。また、株主通信の送付時にアンケートを実施し、株主さまからいただいたご意見などを中間株主通信で報告しています。2019年度は2,111名の株主さまからご回答をいただきました。

市場評価のフィードバック

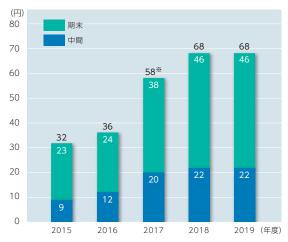
IRイベントや株主通信のアンケート結果、および個別ミーティングで伺ったご意見などをレポートにまとめ、取締役会で随時報告を行っています。市場の評価を社内にフィードバックすることで、課題を浮き彫りにし、今後のIR活動の改善に努めています。

株主さまへの還元

利益配分に関する基本方針

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、継続性と配当性向を勘案して配当を決定することを基本方針としています。2019年度の年間配当金は前年度と同額の1株当たり68円とさせていただきました。

■1株当たり配当金



※ 記念配当 中間1円、期末1円含む

社会貢献

社会とのコミュニケーション

「環境にやさしい工場見学」の受け入れ

2019年7月、宇都宮テクノコンプレックス(栃木県宇都宮市)において、宇都宮市が環境教育の一環として開催した「環境にやさしい工場見学」の受け入れを行いました。親子25組が参加し、事業所見学のほか、ペットボトルキャップを再利用した工作などを行いました。



事業所見学(宇都宮テクノコンプレックス)

環境フェスティバルの開催

宇都宮テクノコンプレックスでは、地域における環境 啓発を目的に、毎年環境フェスティバルを実施しており、地域の桜まつりの第2会場として開催しています。 2019年度は牛乳パックを用いた紙すきでのはがき作り体験などを行い、地元の小学生をはじめとする地域 のみなさまに環境について楽しみながら学んでいただきました。

エスペックミックで自然環境の大切さを体験学習

エスペックミックでは、2001年より郷土学習訪問を受け入れています。植樹祭への参加や、植生調査、植物工場での野菜栽培といった実際の業務を体験していただくことで、自然環境保全の大切さを学んでいただいています。2019年度は、大学や高等学校の学生、計12名の体験学習を受け入れました。



郷土体験学習

「高校生のためのフューチャーフォーラム」への参加

2019年7月、西舞鶴高等学校において京都府・京都経営者協会主催の京都のリケジョ応援プログラム「高校生のためのフューチャーフォーラム」が開催され、当社の女性社員2名が講師として参加しました。本プログラムは、女子高校生がロールモデルとなる大学生や先端技術に取り組む企業で働く女性研究者・技術者との交流を通じて、具体的な未来像を描いてもらうことを目的としています。

災害義援金の寄付

2019年10月に発生した台風19号、および2020年7月の豪雨で被災された方々の支援と被災地の復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じ、被災地に対してそれぞれ50万円の災害義援金を寄付しました。

「兵庫県立大学外国人留学生支援事業」への寄付

経済的に厳しい環境下にある外国人留学生を支援するため、企業版ふるさと納税制度を活用し「兵庫県立大学外国人留学生支援事業」に対して100万円の寄付を行いました。寄付金は、兵庫県立大学国際商経学部 グローバルビジネスコースに入学する外国人留学生が日本で生活するために必要な費用(教科書やパソコンの購入など)として役立てられます。

世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)へのペットボトルキャップ支援

本社において5年間で約23,000個のペットボトルキャップを回収し、2020年1月に「NPO法人 エコ・ワクチン協力会」へ提供しました。そのリサイクルで発生した利益は「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付され、発展途上国の子どもたちにポリオや結核などのワクチンを届ける活動に役立てられます。